

益城町こども計画

こども計画ってなに？

こども計画とは、益城町がこども・若者のみなさんや、こどもを育てる保護者の方々が安心して幸せに暮らしていけるよう、益城町が行っているたくさんの取組や目標をまとめたものです。

だれのためにつくるの？

この計画は、すべてのこどもや若者、その家族、地域の人たち、会社、役所など、みんなが関わるものです。

ここで言う「こども」とは、赤ちゃんから学校に通う子ども、そして思春期の子どもを指します。

「若者」とは、思春期から30歳までの若い人たちで、場合によっては40歳までの少し大人になった若者も含まれます。

いつまでの計画なの？

この計画は、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間のものです。5年経った後は、この計画がうまく進んでいるかや新たに取組むべきことが無いかを見直し、新しいこども計画が作られます。

計画の内容はどうやって決めるの？

実際にこどもや若者、子育てをしている人たちの意見を聴くために、アンケートやヒアリング調査を行いました。

その調査結果やこれまで益城町で行ってきた取組みの効果をもとにこども計画として行っていくことを考えました。

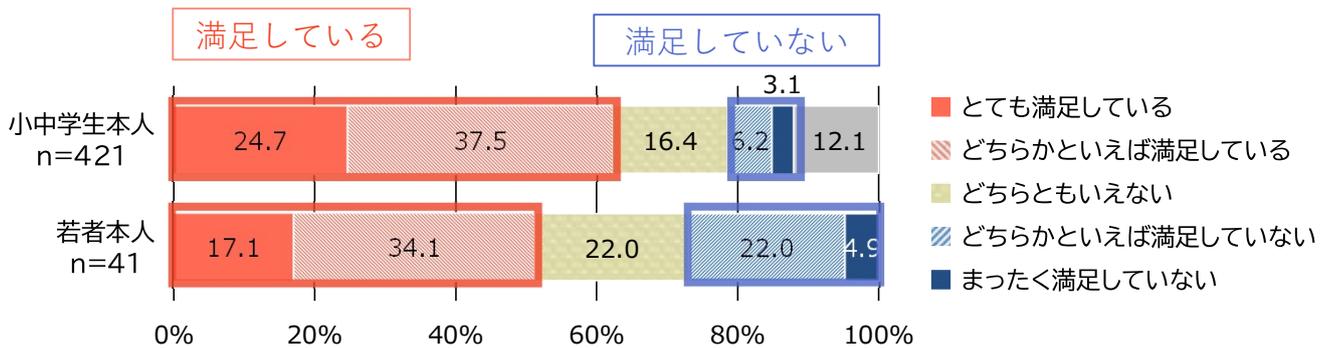
また、益城町でこどもや子育てを支援する仕事をしている大人や子育てをしている人、関係する団体の人たちが集まって、会議を開き、こども計画の内容について話し合いを行いました。

アンケートの調査結果

アンケート調査から把握した結果の一部を紹介します。

① 子ども・若者を取り巻く環境の満足度

自分やまわりの子ども・若者が住んでいる益城町の環境（まわりの状態や生活のしやすさ）について、どれくらい満足しているかを見てみると、小中学生たちでは、『満足している』が62.2%で、『満足していない』が9.3%でした。若者たちでは、『満足している』が51.2%で、『満足していない』が26.9%でした。

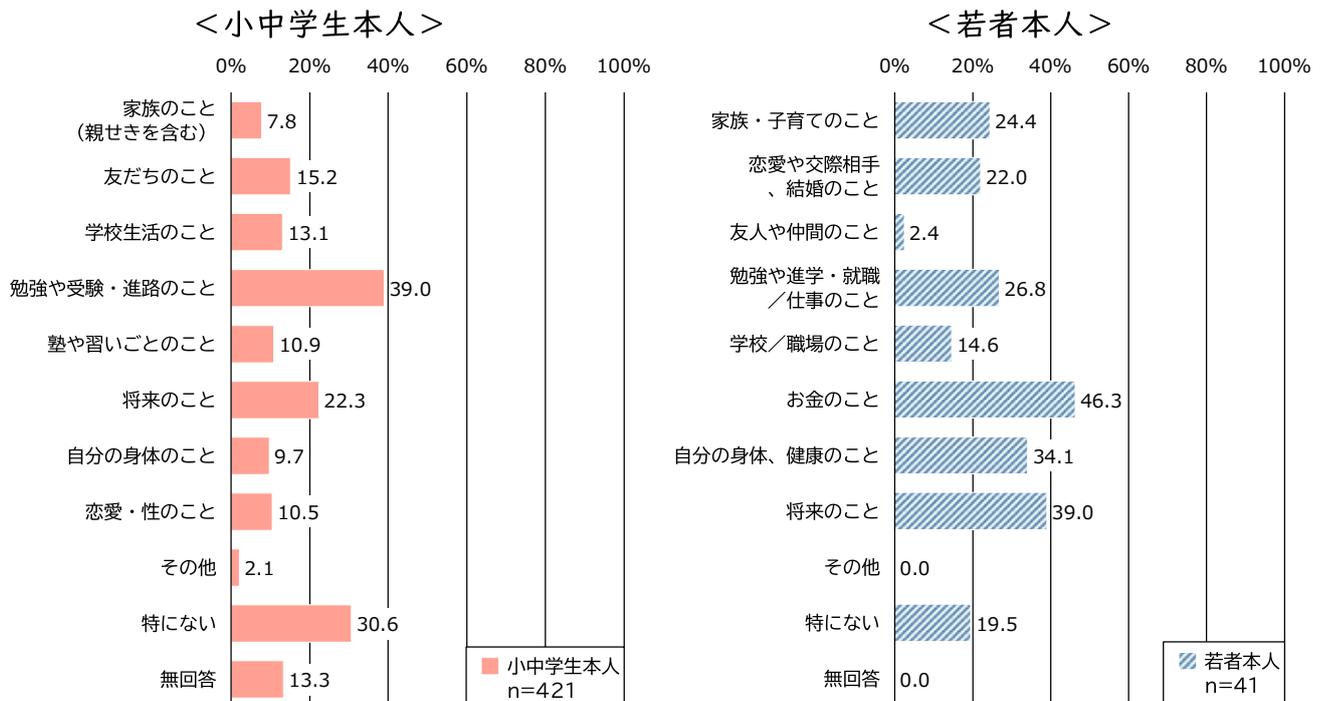


② 子ども・若者の困りごと、悩みごと、つらいこと

普段、困っていること・悩んでいること・つらいことについて見ると、下の図にあるようなことが多く選ばれています。

小中学生たちでは、「勉強や受験・進路のこと」が一番多く選ばれました。

若者たちでは、「お金のこと」が一番多く選ばれ、他にも「将来のこと」や「自分の身体、健康のこと」が選ばれました。



計画の基本理念と体系

基本理念とは、この計画を進めた5年後に町がどのようになっているかを示す大切な考え方です。将来、こどもや若者が将来、益城町で活躍できるように、それを応援することを目指し、本計画の目指す方向性である基本理念を次のように定めます。

基本理念

未来を担うこども・若者が
健やかに育ち、尊重され、活躍するまち
子育て世代が安心できるまち
こどもまんなか益城町

基本理念を達成するために5つの基本目標を設定しました。

基本目標

- 1 益城町のみんなでこどもまんなかの社会を実現するまち
- 2 お父さんとお母さんが、こどもを安心して産んで、育てることができるまち
- 3 こども・若者のみなさんが健やかに成長し、希望をもつことができるまち
- 4 生活が苦しかったり、家族のお世話をしていたり、色んな環境にあるこどもたちやお母さん、お父さんが幸せに暮らすことができるまち
- 5 こども・若者が安全に暮らすことができるまち

計画への考え方

この計画を進めていくうえで、次の2つのことを大切にしていきます。

その1 年齢やそのときの状況に合わせて必要な支援が受けられること

お母さんが赤ちゃんをお腹に抱えているときから、赤ちゃんが生まれて大きくなるまで、そして学校に行って大人になっていくまで、必要な助けは変わってきます。こどもが元気に成長し、自分の夢をかなえられるように、困ったときにはどんな年齢でもちゃんと支えてくれる人たちがいるように、みんなが幸せに暮らして、大人として自分の力で生きていけるようにお手伝いします。

その2 こども・若者や子育てしている人の立場からかんがえること

こどもや若者が一番大切にされるように、また、子どもを育てている人たちが毎日を楽しんで充実させられるように、みんながどんな助けを必要としているかを、こどもや若者、子育てしている人の目線にたって考えます。病気やけが、いじめ、お金のことなどで困っているこどもや若者、家族もきちんと助けて、誰も取り残さないようにします。

基本目標ごとの方向性と主な取組み

基本目標1 地域全体でこどもまんなか社会を実現するまち

この目標に向けて次の事に取り組めます。

- ① こどもの権利を大切にする気持ちをみんなで高めていく取り組み
- ② こどもが社会で活躍したり、自分の意見をしっかり伝えたりできるようにするための取り組み

たとえば…

こども議会等を通してこども本人の意見聴衆の場を設けます

こどもの意見を学校運営へ反映する仕組みづくりを行います

こどもの権利とは？

子どもの権利は、自分らしく育ち、幸せに生きるためにあるものです。子どものみなさんが生まれたときから持っています。

例えば、「安心して育つ権利」「学ぶ権利」「遊ぶ権利」「意見を自由に言う権利」などたくさん権利があります

基本目標2

安心して子どもを生み育てることができるまち

- ① 赤ちゃんが生まれる前からずっと、助けてもらえるようにする取り組み
- ② 幼稚園や保育園で、子育てをもっと助けてもらえるサービスを増やす取り組み
- ③ いろいろな家族の必要にあった子育てのサービスを増やす取り組み
- ④ 小さな子どもたちの学びや育ちをもっと良くするための取り組み

たとえば…

基本目標3

子ども・若者が健やかに成長し、 希望をもつことができるまち

- ① いろんなことを体験したり、学んだりできるチャンスをつくる取り組み
- ② 子どもたちの体と心が健康であるように助ける取り組み
- ③ 学校での学びをもっと良くするための取り組み
- ④ 家庭や地域の人たちが、もっと子どもたちの学びを助けることができるようにする取り組み
- ⑤ 子どもたちが安心して遊んだり学んだりできる場所を増やす取り組み

たとえば…

- ⑦ 希望する学校へ行ったり、希望する働き方を助けるための取り組み
- ⑧ みなさんの希望がかなうように、結婚や赤ちゃんを持つことをサポートすること
- ⑨ 家庭のこととお仕事のどちらもがんばれるように助ける取り組み

たとえば…

基本目標4

生活が苦しかったり、家族のお世話をしていたり、色々な環境にある子どもたちやお母さん、お父さんが幸せに暮らすことができるまち

- ① 家族を助けるために一生懸命がんばっている子どもたちを助ける取り組み
- ② お金が足りなくて困っている家庭や子どもたちを助ける取り組み
- ③ 子どもたちが傷つけられないように防ぎ、助けるための取り組み
- ④ ひとりで子どもを育てている家庭を助ける取り組み
- ⑤ 体や心で特別なサポートが必要な子どもたちを助ける取り組み
- ⑥ 困っている若い人たちがもっと助けをもらえるように支援する取り組み

たとえば…

① 子どもを犯罪から守られるような地域を作る取り組み

② 子どもが安心・安全に暮らせる地域を作る取り組み

たとえば…

計画の推進に向けて

れからの計画を進めるときに、みんなの意見をしっかり聞いて、それをもとに進めていきます。そして、計画がうまくいっているかを確認して、もっと良くするためにどんどん改善していきます。

(計画策定)

- 子ども・子育て会議での審議を踏まえた計画の策定
- 目標設定



プラン
Plan
計画

(計画の推進、事業実施)

- 各主体との連携・協働での実施



ドゥ
Do
実行

(実施状況等の点検・評価)

- 子ども・子育て会議における事業等の進捗状況等の評価



アクション
Action
改善

(事業の継続・拡充・計画見直し)

- 予算編成等における事業評価
- 量の見込みと確保の内容の検討・見直し



チェック
Check
確認・評価